



Handsome

Handsome CONTENTS

November 2015

NETSU
LINK TO THE FUTURE

2015.11 No. 322

巻頭記事 10月例会開催

10月例会を終えて

中央会発掘委員会 委員長 内田 和也

OB訪問

(有)中田石材工作所

中田 耕治OB(第34期ご卒業)

境港青年会議所

50周年記念イベントレポート

特集 地方創生

青経連事業「地方創生」開催

会員から見た「地方創生」

委員会活動報告 政治行政委員会

連載

突撃!今晚の乾杯メニュー 副会長 三輪 龍介

仕事への熱を語る 柳田 貴彦

卒会者からの教え 西村 義史

会員当てクイズ この人はだれだ!?

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松田 幸紀

編集責任者/担当 副会長 廣谷 栄一 制作・編集 41期広報委員会/委員長 権田 和志 印刷所/東京印刷(株)

～10月例会開催～

10月15日(木)ホテルサンルート米子に於いて平成27年度鳥取県西部中小企業青年中央会10月例会が開催された。今回は松田会長が「出席率100%」を目標に掲げており、当日は94.8%と結果的には及ばなかったものの、高い数字を叩き出した。



会長挨拶では、ある高校の男子生徒の話を紹介された。その生徒は、視力が急激に低下するレーベル病に罹り、野球を続けられなくなった。しかし、監督がノッカー役を提案し野球部の一員として光明がさしたという内容であった。人にはそれぞれ役割があり、周りには支えている人がいる。感謝の気持ちを普段から言葉にできているかと呼びかけた。

委員長タイムでは、ビジネス経営委員会の松井委員長が自身の葬祭業について説明を行った。100年以上の歴史を誇り、現在では鳥取県西部で6つものホールを抱える。同社の会員カードは提示すると優待される仕組み。加盟店側からは「普段来ない客層が来るようになった」と好評の様子だ。

今回の例会では、中央会が過去に行ってきた事業を振り返ることが目的。内田

委員長は趣旨説明で「どの事業も委員長を中心に本気で取り組んできた。これらの事業を参考にし、その精神を未来につなげて欲しい。いい事業は単年で終わることなく継続していくための、気付きの機会となれば」と語った。

例会の第1部前半は第31期 司法問題研究委員会が取り上げられた。同委員会は裁判員制度について研究。杉山OB(当時会員)に助言を依頼した事や、例会で模擬裁判をやるという堀江OB(当時委員長)の思いと苦労が映像で纏められていた。また、最高裁判所へ意見書を提出したこと、有志により翌年も研究が続けたことが紹介された。



続く後半では、今川副会長(当時委員長)を中心に日々の健康管理について研究した第36期 健康委員会に焦点を当てた。米子市内のジョギングコースを作成し、一般の方からも案を募集。景観や安全性の評価が高いものは同委員会作成のジョギングマップへ掲載し、米子市報と共に

配布されたことが紹介された。

次に第2部では、牧田県会長が鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会の活動を振り返った。鳥取駅などを高架化する際のコンセプトや、その後の様子を調査したほか、米子駅南北一体化について米子市議やJR米子支所次長を交えてオープン討論会を開催。また、今期は石破大臣と平井知事にご講演頂いたことも紹介された。

最後に第3部では、当会と全日本トリアスロン皆生大会との歴史を遡った。団体ボランティアの参加を継続事業とすることやトリアスロン派遣理事という役職を作った経緯などが紹介された。また野嶋OBとのやり取りでは、人的協力ももとより経済人ならではの視点で様々なアイデアをアドバイスして欲しいとの言葉もあった。



いずれの事業も過去に当会が成し遂げ、次代に伝えていくべきもの。「会員全員が行きたいと思える例会を。その結果、出席率が100%になれば」という松田会長の熱い思いに見事応えた内田委員長、中央会発掘委員会の皆さん、発表者の皆さんお疲れ様でした。(記事:高田)

10月例会を終えて

中央会発掘委員会 委員長 内田 和也



この度の例会では、OBや他の委員会の方に参加していただき、とても良い例会が出来たと思います。取材をさせて頂いた方にも、昔のことを思い出すことが出来て良かったと言ってもらえたのでとても嬉しかったです。

中央会40年の歴史の中で数多くの会員が、委員長を中心とし様々な活動をしておられ、沢山の事業を行っています。その中から事業を絞り込むのに悩みました。委員会テーマが「掘削」なので、例会に向け過去の事業を沢山掘り下げました。例会の時間内で発表するのに一つの事業を深く掘るのか、沢山の事業を浅く掘るのか迷いましたが、4つの項目に決めました。限られた時間で良い活動を伝えられるか心配でしたが、時間内に丁度よくまとめ、分りやすく話して頂きました。今回の例会が、会員皆様の今後の中央会活動やビジネスの参考にになればと思います。

最後に御協力頂いた方々と委員会メンバーにお礼を申し上げます。有難うございました。次回の例会も頑張りますのでご協力よろしくお願ひします。

青経連事業「地方創生」開催

去る10月11日(日)、米子市公会堂に於いて、鳥取県西部青年経済団体連絡協議会(以下青経連) 27年度の事業として、各会の会員並びに一般からの参加のもと、「地方創生」をテーマに講演会が行われた。講演会は2部構成で行われ、第1部では鳥取



県選出の石破茂内閣府特命担当大臣(地方創生担当大臣)に「地方創生の現状と今後について」という演題でご講演いただいた。第2部では、「4団体の活動からみる鳥取創生とは」をテーマに、青経連4団体の各代表に加え、平井伸治鳥取県知事に

もご参加いただき、パネルディスカッションを行った。

会はずまず当会浜田政治行政委員長の趣旨説明でスタート。第1部の石破大臣の講演では、かつての国策の例を交えて、「出来たらいいな、ではなく“しなければ日本が終わる”と、地方が持つ観光・農林水産・再生可能エネルギーの伸びしろを最大限生かして所得向上と雇用増加へ繋げる事等、今の地方創生の必要性やそれに至る道筋を様々な切り口から語っていただいた。

第2部パネルディスカッションでは、当会山崎副会長のコーディネートの下、下駄飛ばし大会やがいな祭、米子マルシェに皆生トリアスロンといった青経連各団体が主催・関連する事業と、その取り組みへの思いが各理事長・会長より紹介された。



また、平井知事からは米子駅南北一体化問題等、様々な事柄への鳥取県サイドの取り組みや、SEA T O S U M M I T等のイベントへの支援体制、また最近の知事のメディア出演での県産品のPR等が紹介された。そうして終わりでは、「各団体の持つネットワークを生かして全国の良い事例を知り、それをどう活用するのかを考え、次の時代を創って欲しい」と石破大臣にま

とめていただいた。その後は、全日空ホテルに会場を移し、石破大臣・平井知事に加え、赤沢りょうせい衆議院議員・舞立昇治参議院議員・野坂康夫米子市長・中村勝治境港市長にもご参加いただき、盛大に交流会が行われた。4団体の会員が散らばった各テーブルでは、他団体メンバーとの積極的な交流が図られ、PRタイムにおいては各団体、個性的なメンバーによる熱いPRで大いに盛り上がった。こうして今回の青経連事業では、講演会とパネルディスカッションで学び、また交流会にて各団体同士の相互理解が深める事が出来たが、我々にとって鳥取創生に向け「自信と責任と誇りを持って、次の時代に向けて鳥取の未来を創る」良いきっかけになったのではないだろうか。

(記事:竹谷)



会員から見た「地方創生」～10月11日 地方創生について～

「地方創生」・・・という言葉を目によく聞くのはここ2・3年のような気がしていましたが、石破氏の話聞いてもその地方の発展という意味では、昭和47年から始まる日本列島改造論(田中角栄内閣)から始まり、昭和54年の田園都市国家思想(大平内閣)、平成のふるさと創生事業(竹下内閣)そして近年の地方創生という歴史があり、特に今となって湧き出した言葉ではないことを知りました。

今までの政策と地方創生は何が違うかという、環境・時代背景がちがう、人口も増え、経済も上がり、土地も上がりいわば高度経済成長期の中の政策と人口減少、経済衰退、土地も下がる中での政策では今までは全く違う。またこれを失敗したら将来の日本はなくなるという事でした。その状況下の中、私たち地域の経済人として「やるべきことは何か!？」と問われたときに、今の私たちの仕事・地域を通じて地

域の魅力ある物を発掘して行って、この鳥取だから出来る事、またこの地域しかできないことが一人一人動き始めた時に地域が輝き、人・物・金が活性化し地方の存在意義が見いだされるような感じがしました。幸い、私は観光業させてもらってますが、「観光とは何か!？」のフォーマットで考えると①春夏秋冬(四季)②海山川(自然)③伝統文化・工芸④食があり、地域の魅力を日本に世界に発信していく事こそが私ができる地方創生のあり方ですし、それを会社仲間そして中央会活動を通じて伝えていくことだと思います。(記事:緒方)

【委員会活動報告】

地方創生を未来に繋ぐ

政治行政委員会

2つの担当事業を終えて

政治行政委員会・副委員長の福本です。7月から始まった政治行政委員会のテーマは「未来に繋ぐ礎を築く」で、主に地方創生についての勉強をしております。担当例会として9月例会と2月例会を行ないます。また、今回は中央会が青経連事業の主幹団体であり、こちらの事業も当委員会が担当します。

まずは9月例会を開催いたしました。西部総合事務所の山根所長様を講師としてお招きし、この事業の目的である「鳥取県西部に関する地方創生」について、西部地方に特化した地方創生のあり方や活動を主にお話いただきました。例会を開催するにあたり、会員の皆様から地方創生について興味があるのかを調査するため、事前アンケートを実施しました。会員の皆様からの意見などいただき、地方創生について少しでも理解していただくために、色々な事を試行錯誤しました。

そして、10月の青経連事業では石破地方創生担当大臣をお招きして、地方創生講演会を開催いたしました。

この2つの事業が政治行政委員会にとっての一大事業となりましたが、次は2月例会に向けて走り続けますので、今後も政治行政委員会を宜しくお願いいたします。



境港青年会議所50周年記念イベントレポート！



陽射しの心地よい10月3日、境港J.Cの創立50周年記念「第11回海辺のまちの音楽祭一日限りの大復活祭with AUGUSTA CAMP EXTRA in 境港」が行われた。スキマスイッチのライブには、大阪城ホールまで駆けつけるM女史と共に、二人で参戦！12店舗の屋台も併設され、皆、昼間からビール片手に、グルメを楽しんでいる。我々も早速、境港総合技術高校のブースでカニ餃子春巻きをGET！蟹味噌にチーズが入って、オシャレで、美味しい！！心地良い海風の中で行われたスキマスイッチや、杏子など6組のアーティストが繰り広げた熱いライブは多彩で、思わず大興奮！ライブはニコ生で生中継され、世界何万人にも発信！お腹も心も大満足の1日でした！



(記事: 蓼本満梨子)

OB訪問

有限会社 中田石材工作所 中田耕治OB (第34期ご卒会)



前号の遠藤健司OBのご紹介により、33期会長・34期ご卒会の中田耕治OBが代表取締役をつとめられる有限会社中田石材工作所にお伺いしました。事務所に通して頂き、目に飛び込んできたのは、数々の中田OBの陳列なさっている作品でした。事業は石材を扱われておられますが、水木ロードのブロンズ像の原型や東京のサザエさんのブロンズ像の原型も作られたお話しを聞き、素晴らしい作品に囲まれた事務所で取材させて頂きました。

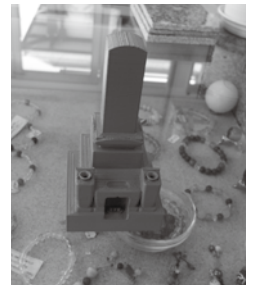
先ず印象に残っている事を伺うと、総務委員長時代に「会を少しでも理解してもらうため、一般会員でも役員会にオブザーバー出席出来ないか？と役員会に毎月掛け合せて実現した事がすごく印象に残っている。単年度で終わったとしても前例を作る事が大切だ」とおっしゃられました。

会長時代は「会長としては会の方向性を示し、自分が任せた委員長だから自由にやって欲しい。責任は会長がとるから」「委員長の皆さんが頑張るのを見守るだけ、各委員会が競争みたいに事業を立ち上げてくれて相乗効果で全体が盛り上がりくれた」と当時を振り返って頂きました。

現役会員にメッセージをとの問には「自分たちの思った事を自信持って進めてもらうのが一番。自分の会社の為、地域の為とか風呂敷広げて、でもどうやったら出来るだろう？と考えて思った事をどんどんやってもらいたい。内向きだろうが外向きだろうが活動の幅を広げてもらいたい」とメッセージを頂きました。

連休明けのお忙しい中、終始にこやかに取材に答えて頂きありがとうございました。

(記事: 渡邊公平)



卒会者からの教え

「中央会とは体験型経済団体である」(平成21年4月入会)

西村義史会員

私は一企業のサラリーマンですが、中央会に入会したことにより普段の会社勤めではなかなか出来ない体験をさせていただいております。総務・広報・政治のこと、また寸劇・ラジオ収録そして長時間に渡るボランティアなどは、まず中央会に入会していなければあまり体験出来なかったことでしょう。普段は考えたことも無い事柄について議論したり、講演で貴重な体験談などを拝聴したりと多くのことも学ばせていただきました。そして何よりも約100名の会員とOBの皆様と接することで多くの考え方を知り、また所作一つにしても人それぞれで、本当に勉強になりました。



ところで皆さん「キザニア」に行かれたことがありますか？90種類以上の仕事の体験が可能で、社会の仕組みが学べる子供向けの「体験型商業施設」です。体験することにより夢を膨らませ、実際にその職業に就く子もいるでしょう。青年である私たちも中央会活動を通じて様々なことを体験し学ぶことが出来ます。そこからパワーを貰い、事業を拡大する方、起業する方もおられます。キザニアは年齢制限があります。中央会にも年齢制限があります。会員の皆様、卒会までの一つでも多くの事を体験し、夢を膨らませましょう。

柳田 貴彦会員 仕事への熱を語る



皆様、はじめまして米子市河崎にて【有限会社 柳田建設】を経営しております。柳田です。

弊社は運輸部・工務部の建設会社です。運輸部は運機や土砂、残土、産業廃棄物等を運搬させていただいております。弊社での工務部は主に公共工事をメインに工事しております。

代表的な工事では道路改良工事や道路拡幅工事、準用河川工事、コンクリート構造物築造工事、下水道工事等をさせていただいております。広島県で起きた土砂災害事故から、山側付近で家や農業をされている方の災害被害を防ぐ為のダムを造ったり、阪神淡路大震災・東日本大震災で問題視された住宅密集地域の道路幅が狭く緊急車両や救急車両が進入できず災害が広がった事からの道路拡幅工事等をしております。また冬の恒例行事である雪掻きもさせていただいております。

このような工事や運輸作業を通して皆様の生活基盤を微力ながら支えております。

普段、何気なく過ごしている地域や使っている道路が問題なく使用できるのは、日本の土木工学が歴史を重ねる毎に進化してきた証拠です。他国では道路が陥没したり大変ですよ…。

また、私からのお願ひですが、工事中の作業員を暖かい目で見守ってください。弊社のみならず他社さんも暑い時も寒い時も雪が降っていても頑張っています。作業員は寒い！暑い！雨降るな！雪多すぎ！！とか言いながら頑張ってます。工事中は何かと面倒です。迂回したり通行止めだったりイライラする事が多々ありますが、地域の為に頑張っています。工事現場の作業員を見かけたら暖かく見守ってください。

Q&A 会員当てクイズ



この人はだれだ!?



(本人よりひとこと)
4歳位の頃の写真です。砂いじりが好きだったようです…
(ヒント)
・昭和50年生まれ
・平成19年中央会入会
↓入会当初の写真です。



答えはホームページをCheck!!

突撃! 今晚の乾杯メニュー

【第3回】三輪 龍介副会長

「突撃! 今晚の乾杯メニュー」というご依頼でしたので、どなたかが家まで来られるのかと思ってしまい、妻とも「恥ずかしいね〜」とか言いつつそわそわしていたのですが、自分で写真を撮って記事も書いてとのことで



したので、ホッとしたような、逆に自分で紹介することが余計に恥ずかしかったり…。

さて、本題ですが写真は10月12日、三連休最終日の晩御飯です。この日は鶏の唐揚げ、かぼちゃとベーコンのサラダ、つるむらさきのお浸し、鱈のなめろうの4品。思わずお酒をお供にしてしまうメニューでございました。(我家ではささやかな体重抑制策として、晩飯時は炭水化物無しとしているので白米は出てきません)



平日は仕事で遅かったり会合等での外食が多いので、家のご飯を家族揃ってちゃんと食べられるのは土日くらいなのですが、休みの日に妻が作ってくれた料理とお酒を楽しむことに只々感謝するのみでございます。

ダイエット企画経過報告!
食事は減らさずに…5Kg減!?

6月時点で体重3桁を目前に個人的に減量を始め、この企画が始まった8月で96kg、10月現在で91kgとなっております。

ライザップなどで近年流行りの『糖質制限』を行っており、炭水化物を始め、根菜や果物など糖分を多く含む物を極力避けています。

糖質を減らす代わりにタンパク質や脂質は増やす必要があるので、食事量自体は減らさないのがポイントのようです。

焼肉や飲み会の食事は、白米やビールに気を付ければ糖質制限的にはありがたかったりします。

(記事:石田)



心なしか顔周りが以前に比べすっきりされた印象の石田副委員長。糖質を摂らない代わりにスベアリブを「食べ放題」で食されていました…。

今月の「熱」



(10月例会懇親会より)
砂原会員社長就任、三谷会員新店舗オープンおめでとうございます!



(青経連事業より)
青経連事業の大役を終えられた浜田委員長。本当にお疲れ様でした!

11月役員会報告

11月役員会が平成27年11月2日(月)米子市公会堂集会所5にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・10月例会報告の件
- ・11月例会開催の件
- ・12月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

11月例会案内

と き:平成27年11月16日(月)9:00~21:00

と ころ:米子全日空ホテル

内 容:企業を買い取る(譲り受ける)という成長組織の力を最大限に活かす

担 当:第41期 ビジネス経営委員会

編集後記

初めて記事依頼をさせて頂きました。依頼は内田委員長と佐嶋会員にさせて頂き、電話やメールでやり取りをして緊張しましたが、例会以外でコミュニケーションを取れた事で、勝手ながら縁が深まったように思いました。提出期限や修正と大変でしたが、良い経験になりました。これからも、皆様に依頼させて頂くかと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

(新井 翔太)

新入会員



佐嶋 健一郎

A型

株佐嶋工務店 支店長代理

不動産販売営業

〒683-0802 米子市東福原4丁目20番7号 生田ビル101

TEL 30-3211 FAX 33-8820

(KT) 090-3372-1924

(EM) info@sajima.co.jp

S 54.09生

H27.10(廿7年)入会
(推薦者) 松井(淳)
緒方(恒)

〈コメント〉今年の1月より米子にて支店をオープンしました。米子で商売をしていくにあたり、縁あって中央会に入会させて頂きました。今後皆様にはお世話になるとは思いますが、精一杯米子を盛り上げられるよう頑張りますので、何卒宜しくお願いいたします。